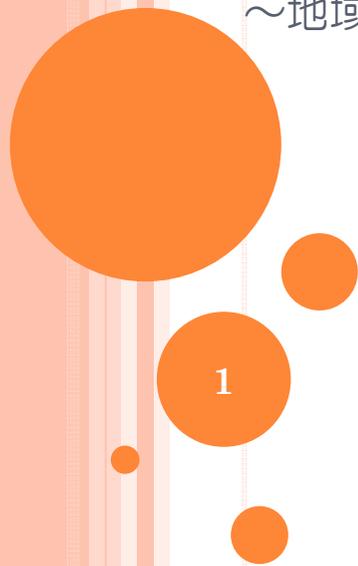


不登校・引きこもりの人の「中間労働の場づくり」+
「木育普及」プロジェクトのご提案
【寄付及び第1回モグラ縁と絆債の募集について】

～地域・社会を変える新しい協働モデルに参加しませんか？～



1

特定非営利活動法人楽しいモグラクラブ
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

本プロジェクトの概要

NPO法人楽しいモグラクラブ(札幌市)が不登校・引きこもり・発達障害の人に「中間労働の場」を提供するため、「木工品製造・販売事業」を開始するための応援プロジェクトです。

本プロジェクト遂行の必要経費300万円の資金調達を目指します。

【皆様にご協力いただきたいこと】

木工品を製造する機械がまだありません。北海道発の先端技術を持つ木工旋盤「3Dターニングマシン」の購入に向けた資金調達(寄付・疑似私募債等)に是非御支援ください。

多様な市民の皆様に、国産の「木」を取り込んだ生活を通して、「木」の魅力を感じて頂きながら「自然環境」を意識した子育てやコミュニティ形成を実現する「木育」を普及するため、「木育文化」を育てるためのプロジェクトです。

木の魅力を感じ、木を使うことの必要性を再認識しながら「作り手」と「使い手」がお互い様の心の「絆」で結ばれることで、差別や格差のない温か味のあるコミュニティが育つはず。集団生活や組織に馴染めない特性を持つがために「引きこもり」となった人達に、木の物作りを通じた収入を得ることで経済的に自立するチャンスを与えてください。

社会的弱者(不登校、ひきこもり、発達障害者など)の自立を支援し、この活動が実を結ぶと、税収の増益、次世代により社会を切り開く一助にもなると考えております。仕事に就くことで貢献できる、社会参加することで貢献できる、社会全体にメリットがあります。「中間労働の場」を提供する、そのきっかけづくりや機会にご協力お願い致します。

まずは「楽しいモグラクラブ」の想いを知って下さい。

楽しいモグラクラブって？

楽しいモグラクラブは、不登校・引きこもり・発達障害の人に「居場所」と「中間労働の場」を提供するNPOです。

- ・2001年10月に不登校・引きこもりの人たちが集まる喫茶店を開業しました。
- ・そこに集まる不登校・引きこもりの人の「ITスキル」を見だし、ITKAIを結成。ITスキルを生かした仕事づくりを開始します。
- ・しかし、「働き方」を工夫しなければ彼らが働き続けることは困難です。そこで相互扶助をしながら、お客様には迷惑をかけず、自分たちのペースで仕事をする働き方であり、「競争労働」と「福祉」の間の概念である「中間労働」を目指すこととなります。
- ・少しずつ同団体の活動の認知度が高まるとともに、大学・医療機関・ボランティア等の応援者が増え、「中間労働」の働き方を少しずつ実践できるようになりました。

※平成21年度には経済産業省ソーシャルビジネス55選に選出されました。



団体名 NPO法人楽しいモグラクラブ
代表者 平田 眞弓
住所 札幌市北区北19条西3丁目2番33-100号
URL <http://mog.la/>

本プロジェクトのきっかけ

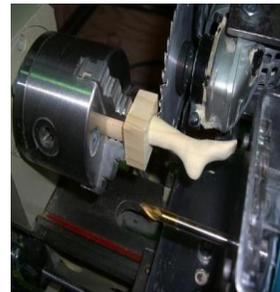
3Dターニングマシンとの出会い

- ・中間労働の場をもっと増やさなければ、彼らの生活は十分保障されません。ITKAIメンバーのITスキルは非常に高い。しかし、それを生かす仕事が少ないのです。
- ・そんな折り、平田代表は、道総研・林産試験場の技術をベースに複雑な3D加工が可能なNC木工旋盤「3Dターニングマシン」と出会います。
- ・ITKAIにはどんな複雑な形状でも「3D-CAD」を使って設計できるプロがいます。
- ・この機械があれば、オリジナリティあふれる多様な木工品を製造・販売できるのでは？との思いが、このプロジェクトのはじまりでした。

3Dターニングマシンとは？

チップソーを用いた木工旋盤で、コンピュータ制御により複雑な3D加工が可能な装置です。福祉施設での活用を想定し、車椅子に乗ったままでも作業がし易いなど安全に安心してお使いいただけるよう配慮されています。

開発：道総研・林産試験場 製造：旭川機械工業株式会社
ソフトウェア開発：有限会社エーリンクシステム



3Dターニングマシンの試作品 ~アイデア次第でいろんな木工品が作れます~



本プロジェクトへの想い その①

3Dターニングマシンを購入にチャレンジさせてください

- このプロジェクトは、楽しいモグラクラブが3Dターニングマシンを購入することからはじまります。
- 3Dターニングマシンは開発後、まだ2年しか経ってません。その可能性が期待されているところです。まだ普及初期ですので、機械の特徴を活かした今までにない商品を他に先駆けて生産するチャンスでもあります。一般財団法人機械振興協会より第9回(平成23年度)新機械振興賞(機械振興協会会長賞)を受賞しました。
<http://www.jspmi.or.jp/system/info.php?buid=4&iid=39>
- しかし、モグラクラブにはこのマシンを購入する資金が不足しています。

【だったら補助金・助成金を活用したら？】

- とおっしゃる方もいるかもしれませんが。
- 単純にこのマシンを購入することだけを最終的な目的にすれば、補助金・助成金を活用することもひとつの手段だと考えています。
- しかし、このプロジェクトの目的は、市民の皆様、企業の皆様に不登校・引きこもり・発達障害の人の支援に関心も持って頂きたい「木」の持つ可能性に気づいて頂き、「木育」の普及に貢献頂きたいのです。いろんな人が関わることに意義があるのです。

【お金がないならやるな】

- とおっしゃる方もいるかもしれませんが。
- NPOは社会的課題を解決する「新しい公共の担い手」として期待されています。
- しかし、ほとんどのNPOは活動資金が不足しており、活動の範囲は限定されています。
- 「お金がないから、できない」と嘆くのはやめて、皆様に私たちの想いがしっかり伝わり、賛同いただければ新しい取組ができることを、このプロジェクトを通じて証明したいです。

本プロジェクトへの想い その②

北海道の木育普及のきっかけづくりに貢献させて下さい

【「木」の持つ可能性を広げたい】

- ・3Dターニングマシンで、多種多様な木工品を製造・販売します。
- ・「木」はぬくもりを与え、木に触れることによって、心の安定に繋がるともいわれています。
- ・間伐材を使うことは環境問題の解決にもつながります。そして、林業・木工製造は北海道の基幹産業。地域活性化にも貢献します。

【「木」を様々な形で普及させたい】

- ・木の持つ可能性を知って頂き、広めるため、企業の皆様には企業活動に、市民の皆様には日常生活に「木」というコンセプトを取り入れていただきたいのです。そのきっかけづくりや機会を提供させて下さい。
- ・企業の皆様には、3Dマシンで加工した木製品を「木育」をキーワードとした社会貢献ツールとして、あるいはプロモーションツールとして活用いただきます。
- ・これによって、木のぬくもりをさまざま人に味わっていただく機会をつくれます。
- ・親子で半加工された木工品を一緒に磨くプロセス、木を題材に語り合うプロセスを通じて、親子のコミュニケーションづくり、子育て支援まで発展させたいと思います。

本プロジェクトへの想い その③

北海道在住のデザイナーが活躍できる新たな機会創出のお手伝いをさせていただきます

【道内デザイナーの現状】

- ・道内には優れたデザイナーが数多くいます。しかし、道内デザイン業界は厳しい経営環境にさらされ、多くのデザイナーが道外へ流出しています。デザインは、付加価値の高いものづくりには不可欠な要素です。デザイナーの流出は、道内産業の活性化にとって大きな損失です。
- ・道内のデザイナーが、道内で活躍できる新たな仕事づくりが求められています。

【デザイナーの可能性を引き出す3Dターニングマシンの可能性】

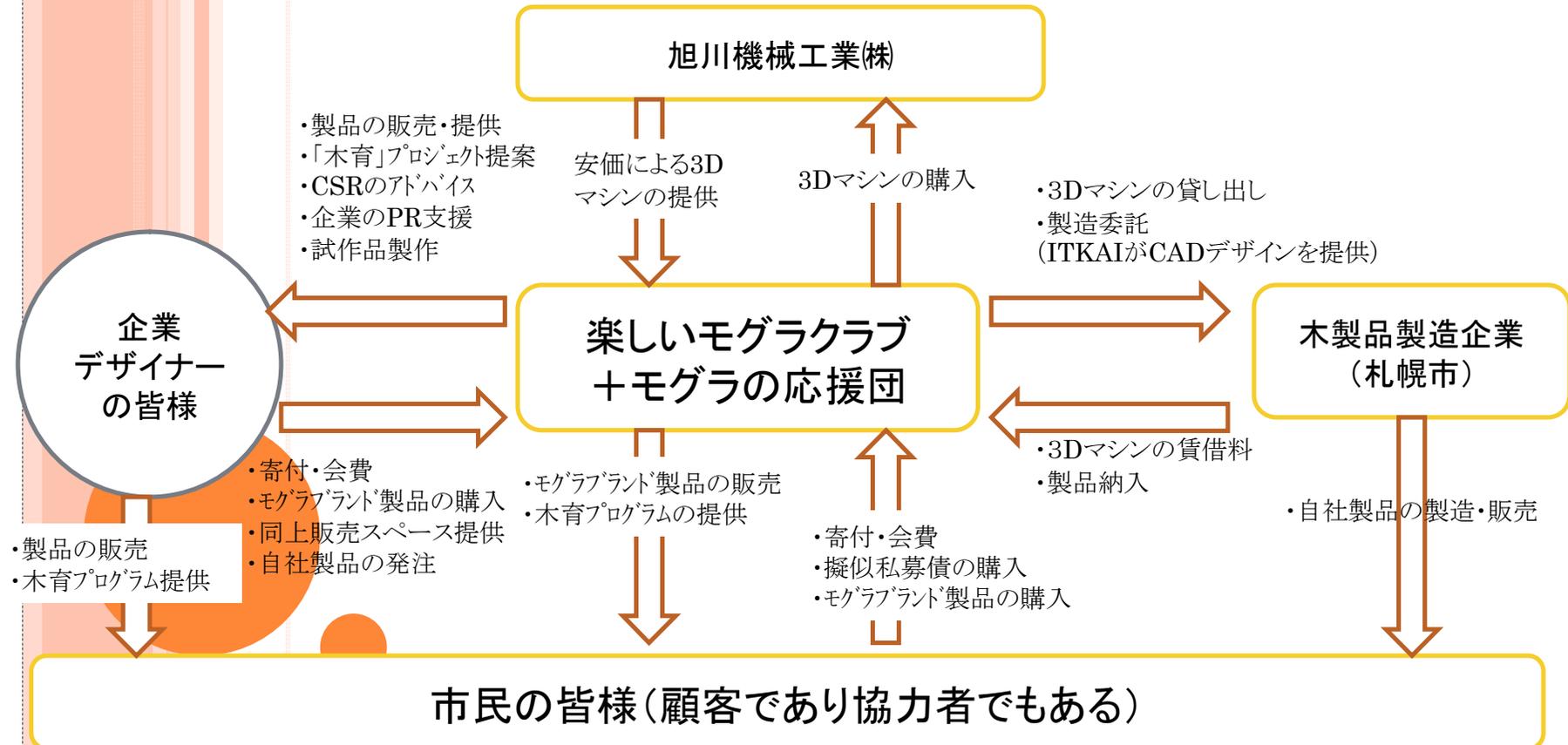
- ・3Dターニングマシンは、従来の木工旋盤では不可能だった形状の木工品を製造が可能です。
 - ・このマシンの特性を最大限に生かすには、オリジナリティあふれる木工品のデザインが重要です。
 - ・そこで、3Dターニングマシンを用い、道内のデザイナーのデザインから、付加価値の高い木工品が数多く生み出せるのでは、と考えています。
 - ・とりわけ、これまで1次元・2次元で表現していたデザインを、木工品というかたちで3次元で表現できることは、デザイナーの皆様の新しい可能性を引き出す大きなきっかけとなります。
- (本プロジェクトにご支援いただける場合、3Dマシンによる試作品製作を積極的にご活用いただきます)

【デザイナーの人材育成とさらなる木育普及のきっかけに】

- ・まちづくり、地域振興のためのコンテンツ・ブランド立案・作品制作、ご当地キャラクター商品企画・作品制作、伝統工芸職人とのコラボレーション企画、日常の衣食住等あらゆる様々な場面で、「木」というコンセプトを取り入れ、木育を普及させたいのです。
- ・「木」を通じたデザイン制作の機会を増やすことで、デザイナーの育成に繋げ、デザイナーと産業界との様々なコラボレーションで、北海道ならではの「売れる」ものづくりに、少しでも貢献したいと考えています。

本プロジェクトの実施スキーム

多様な人々の「少しずつ」の応援で大きな成果を生み出していきます



企業・デザイナーの皆様へご協力をお願い

本プロジェクトにご協力いただく方法をご提案いたします。

楽しいモグラクラブ+応援団で、御社にもメリットのあるご提案をさせていただきます。

ご協力いただく方法	内容
寄付	楽しいモグラクラブの活動に寄付をいただきます。 ・最近、注目されている寄付型商品(コースマーケティング商品)として、売上高の一部を寄付いただくと、御社の営業活動にもメリットがあると考えます。 (ex volvicは売上高の一部をユニセフに寄付するキャンペーン導入で売上増に繋がっています)
会費	楽しいモグラクラブの正会員・賛助会員となっていただき、モグラクラブの活動の応援団になっていただきます。 (1)正会員 入会金 1000円 年会費 2000円 (2)賛助会員 入会金 0円 年会費一口500円
擬似私募債	「モグラ縁と絆債」を通じ、資金的支援をお願いします。 →詳細は別添資料ご確認ください
木工品のご発注	自社ブランドによる木工品をご発注いただきます。 →例えば、間伐材を使用した御社のエコノベルティグッズを導入する等、御社の「木育」を通じたCSR活動の一環として活用頂くことも有効です。 →本プロジェクトを通じて形成する道内の優れたデザイナーネットワークを活用し、オリジナリティあふれるコラボ商品化も可能となります。
モグラブランド製品の販売	楽しいモグラクラブの自社製品の仕入れ販売、委託販売、販売スペースの提供をお願いします。

【寄付・会費のお振り込み先】

郵便振替口座 02750-9-75224

特定非営利活動法人 楽しいモグラクラブ

連絡先 (011)758-3232(担当 平田)

市民の皆様へご協力をお願い

本プロジェクトにご協力いただく方法をご提案いたします。

ご協力いただく方法	内容
寄付	楽しいモグラクラブの活動に寄付をいただきます。 →詳細は別添資料ご確認ください
会費	楽しいモグラクラブの正会員・賛助会員となっただき、モグラクラブの活動の応援団になっていただきます。 (1)正会員 入会金 1000円 年会費 2000円 (2)賛助会員 入会金 0円 年会費一口500円
擬似私募債	「モグラ縁と絆債」を通じ、資金的支援をお願いします。 →詳細は別添資料ご確認ください
木工品の購入等	→モグラブランド木工品、木育プロジェクトの参加、本プロジェクトの協力企業の寄付型商品の購入等を通じて、ご協力いただきます。 →マイブランドOnlyOne木工品をデザイナーにオーダーメイドをすることで道内の優れたデザイナーの人材育成に、ご協力いただきます。 一生使える宝もの、大切な人へのプレゼント、世界にただ一つのオーダーメイド商品の購入を通じて、ご協力いただきます。

【寄付・会費等のお振り込み先】

郵便振替口座 02750-9-75224

特定非営利活動法人 楽しいモグラクラブ

連絡先 (011)758-3232(担当 平田)

■最後に

このプロジェクトは多様な主体がそれぞれの特徴を活かして社会に貢献するための協働モデルです。

特定の誰かに責任や負担を強いるのでは、地域・社会的課題の解決は実現しません。地域・社会問題に関心を持ち、できることを協力する。

このような人が束になることで、きっと社会はいい方向に向かっていくはず。

そう信じています。

「関係性づくり」というおせっかい、「人と人との繋がりづくり」はNPO活動の大切な経営原則だと思います。

見知らぬ人と団体を新たな関係を生み出すことが仕事なのです。

関係を生み出す場が「モグラクラブ」であり、次世代へ受け渡せる「利用者の管理の仕組み」になること、人々に新たな繋がりができることによって新しい世界が広がり、その生活が心豊かになることを望んでいます。

善い縁を大事に育てていく事、自分の夢を諦めずに貫いていく事はとても大変ですが、いつか実がなると思っています。

是非、本プロジェクトの趣旨に賛同頂き、一緒に地域・社会的課題を解決していきましょう。

皆様のご協力を何卒よろしくお願い致します。